

使用者の声

「総合殺菌剤 フロンサイドSC」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介いたします。



総合殺菌剤

石原

フロンサイド
SC

【ブロッコリー】鳥取県 梶井さん

産地としての収量を上げるため、積極的に資材を試して周りに広める。 フロンサイド SC は外せない一剤。

鳥取県は大山山麓地域を中心としたブロッコリー生産が盛んで、西日本屈指の生産量を誇っています。琴浦町の梶井さんは、地元の農業卸売企業に勤める傍ら、琴浦町ブランドのブロッコリー生産者として自らも圃場に立っています。知人からの誘いを受けて就農し、現在で4年目。「農業は楽しいけれど、辛いこともある。それでも、良い作物が出荷できた時はやっぱり楽しさが勝ります」と農業の魅力を教えてくれました。

コストパフォーマンスの良さが魅力。 耐病性のない品種の栽培時には欠かせない。

ブロッコリー作りで梶井さんが特に力を入れていることが、重要病害虫の予防です。過去の根こぶ病被害の経験が、防除意識を高めるきっかけになったといいます。「連作すると、どうしても根こぶ病が発病しやすくなります。良いものが採れなくなり、最悪の場合は廃棄せざるを得ないので、しっかり防除しないといけない病害だと感じました」。農業を選ぶ際はコストパフォーマンスを重視。「価格が安いからといって、何回も使わないといけないのでは意味がありません。多少値が張っても効き目が信頼できる剤を使い、結果的に少ない回数で防除できるほうが良いと思います」。そうした考えのもと、根こぶ病防除で現在使用している剤がフロンサイドSC



です。「他剤を苗に灌漑し、定植前にフロンサイドSCを使っています。最近は根こぶ病の耐病性品種もありますが、根こぶ病が発生しやすい高温期に生育する品種には耐病性がないものもあるので、絶対にフロンサイドSCは欠かせません」。



生産者として資材を試し、 支援する立場として良いものを広める。

ブロッコリー生産者としての経験は、農業を総合的にサポートする会社の営業マンという立場でも生きてくるそうです。「自分で使ってみて間違いないと思った肥料や農薬などの資材を、自信をもってお客さんに勧めています。実際に勧めた農家さんに『良かった』と言ってもらえた時は嬉しいです」。いち生産者として自ら良し悪しを見極めながら、良いものは積極的に広めていく。「生産者としても、それを支える立場としても最先端を走り、産地を引っ張っていくことが自分の役目」という思いが原動力になっています。

「生産者として良いブロッコリーを作り、収量向上に努め、収穫がひと段落した休みには趣味のゴルフに没頭することが喜びです。栽培で培った経験や知識を、農業のサポーターという立場で周りの生産者に共有し、地元琴浦のブロッコリー作りに貢献していきたい」と話す梶井さんの夢を、フロンサイドSCは支えています。

※取材時(2025年12月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



「使用者の声」は
webでもご覧
いただけます